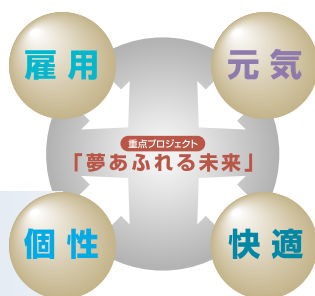




個性創造プロジェクト

公益の心と個性あふれる人、地域の創造



少子高齢化や核家族化、生活の多様化などから、地域での家族や世代を越えた「かかわり」が低下するなど、子どもたち、そして私たちをとりまく環境は大きく変化しています。地域づくりは人づくりを基本に、家庭や学校、地域が一体となって、「公益の心」を育み、夢あふれる未来に向かう酒田っ子を育成します。また、生涯学習活動やスポーツ・レクリエーションに親しみと

生きがいを感じながら、学んだ成果を地域づくりに生かせる人づくりを進めます。

本市は、鳥海山、最上川、庄内平野などの雄大な自然に恵まれ、風格ある歴史と伝統文化に培われた港町であり、進取の気風に富むまちとして発展してきました。この特色ある資源を大切に継承し発展させ、人づくりと一体となって個性ある地域づくりを進めます。

未来に向かう酒田っ子の育成

施策の概要



自ら考え生きる力を育てる

子どもたちが夢あふれる未来に向かって、健康で心豊かにたくましく成長していく姿は、すべての市民の願いです。明日を担う酒田っ子が、広い「かかわり」の中で「公益の心」、他への思いやりの心を持ちながら、自ら学び、自ら考える「ちから」が育まれるよう家庭や学校、地域が一体となって教育内容や教育環境を充実します。

◎ 個別施策

番号	具体的推進策	事業主体	概要
1	体験活動の充実	家庭、学校、地域	人や自然、社会とのかかわりの中で、自分らしく生きる力を養い、役立つことの喜びや他を思いやる「公益の心」を育みます。
2	開かれた学校づくりの推進	家庭、学校、地域	家庭や学校、地域が一体となって「公益の心」を育みながら魅力ある学習活動を推進します。
3	確かな学力の向上	家庭、学校、市	教職員の指導力向上や少人数指導などを進め、児童生徒が意欲的に学ぶ力を育みます。
4	読書活動の推進	家庭、学校	図書に親しみ、積極的に読書する習慣づくりを推進します。
5	子どもの体力向上事業の推進	家庭、学校、市	発達段階に適した運動を指導し、体力や基礎的運動能力の向上を図り健康な体をつくります。
6	特別支援教育*25および教育相談体制の充実	学校、市	軽度発達障がいなどをはじめ、多様化する特別支援教育を充実します。また、不登校やいじめなどに対する教育相談体制を充実し、生徒一人ひとりに応じた教育を進めます。
7	学区改編および統合再編の検討、実施	学校、地域、市	充実した学習環境を確保するため、小中学校の適正規模や適正配置を推進します。

*25 特別支援教育 — 従来の特殊教育の対象障がい(視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由など)だけでなく、注意欠陥・多動性障がい(AD/HD)、学習障がい(LD)などの軽度発達障がいも含めて、障がいのある子どもの自立や社会参加に向け、一人ひとりの教育ニーズに応じた適切な支援教育。

◎ 目標数値

項目	算出方法	現状 (18年度)	5年後 (24年度)	10年後 (29年度)
公益、道徳性を養う体験学習の割合	小学校の実施校数の割合	46.6%	70.0%	100.0%
体力向上の割合	小学3年生の50m走の平均 ()内は18年度の参考数値	市平均 (男子10.41秒) (女子10.54秒)	県平均以上 (男子10.32秒) (女子10.50秒)	全国平均以上 (男子10.17秒) (女子10.45秒)
不登校児童と生徒の割合	全児童生徒に対する出現率	小 0.1% 中 2.5%	小 0.1%未満 中 2.0%	小 0.1%未満 中 1.3%

- ・公益、道徳性を養う体験活動の実施割合を目標数値として、「公益の心」の醸成を図ります。
- ・運動能力の基礎となる50m走の平均が、県、全国平均より低い状況にあり、5年後には県平均、10年後には全国平均を上回ることを目標数値として、体力の向上を図ります。
- ・不登校児童、生徒の割合を少なくすることを目標数値として、相談体制の充実や他を思いやる心の醸成等を図ります。

施策の概要



健康スポーツ・レクリエーションの普及

社会の変化が急速に進み、市民の生活意識や価値観が多様化している時代にあって、健康で心豊かに充実した人生を送るために、「いつでも」「どこでも」「だれでも」気軽に生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境を整備します。また、学んだ内容や成果を自ら進んで地域社会に還元できる人づくりを進めます。

◎ 個別施策

番号	具体的推進策	事業主体	概要
1	各年代期に適した学びとスポーツの推進	市民、市	乳幼児期から高齢期まで各年代ごとの目標を掲げながら、講座やスポーツの場を提供します。また、生涯全期にわたる交流や公益活動を通じた人材の育成を図ります。
2	生きがいづくり、仲間づくりへの支援の充実	市民、市	各種講座の提供や自主学習サークルの活動を支援するとともに、学習ボランティアの育成や学習成果を発表する場を提供します。
3	健康スポーツ・レクリエーションの普及	市民、体育団体、市	ウォーキングなど、楽しみながら気軽にできるスポーツ・レクリエーションの普及を図り、市民の健康な体づくりを進めます。
4	図書館のネットワーク化によるサービスの充実	教育機関、市	市立図書館と東北公益文科大学の図書館をネットワーク化し、インターネットや携帯電話を利用した貸出しを行うなど、利便性の向上を図ります。

◎ 目標数値

項目	算出方法	現状 (18年度)	5年後 (24年度)	10年後 (29年度)
生涯学習事業の満足度	アンケート調査	73.0%	76.0%	80.0%
図書館利用の割合	館外貸出冊数	457,000冊	555,000冊	635,000冊
	館外貸出人数	127,000人	137,000人	139,000人
運動習慣者の割合の増加	アンケート調査	男 36.2%	39.0%以上	42.0%以上
		女 33.2%	35.0%以上	38.0%以上

- ・中央公民館主催事業の参加者に対する満足度アンケート調査値を目標数値として、学習意欲の高まりを図ります。
- ・図書館利用者と貸出冊数を目標数値として、読書意識の高まりを図ります。
- ・健康さかた21後期計画の市民アンケート調査における運動習慣者の割合を目標数値として、健康、スポーツへの意識や取り組みの高まりを図ります。

歴史と文化が織りなす 人づくり、まちづくり

施策の概要



次世代に伝える伝統芸能（黒森歌舞伎）

本市には、各地域に長年受け継がれてきた優れた歴史、文化遺産が多くあります。その価値を見つめ直し、新たな資源を掘り起こしながら、市民共有の財産として次世代に継承し、発展させるとともに、地域の個性を高め合うまちづくりを推進します。

◎ 個別施策

番号	具体的推進策	事業主体	概要
1	民俗芸能、伝統行事の保存、継承と活用	市民、市民団体、市	後継者を育成するなど長年地域で育まれてきた民俗芸能や伝統行事の保存活動を支援します。また、発表機会を提供し、地域振興や観光振興への活用を図ります。
2	自主的文化活動の促進と企画運営ができる人材育成	市民、芸術文化団体、市	市民等の主体的な文化活動を支援するとともに、企画運営しさまざまな分野や団体間をつなぐ人材とリーダーを育成します。
3	さかた歴史街道事業の推進	市民、市民団体、市	本市に古くから伝わる歴史、文化遺産等を掘り起こすとともに、周遊して、貴重な文化に触れてもらう施策を展開します。
4	歴史文化、自然資源の観光活用	市民団体、市	長年地域で育まれてきた歴史、文化遺産や自然景観等を保存、継承し、また、各文化施設の企画展示を充実させ、それらを広く発信することで、交流人口の拡大につなげます。

◎ 目標数値

項目	算出方法	現状 (18年度)	5年後 (24年度)	10年後 (29年度)
民俗芸能保存団体の育成、組織化数	民俗芸能保存会登録団体数	24団体	30団体	36団体
市民芸術祭入場者数	入場者数実績	23,500人	24,200人	24,900人
文化施設の利用者数	利用者数実績	276,000人	281,000人	286,000人

- ・ 民俗芸能保存会加入団体の増加を目標数値として、保存、継承活動の活性化を図ります。
(平成18年度調べでは、82の活動団体がある。)
- ・ 市民芸術祭入場者の増加を目標数値として、芸術文化活動の活性化を図ります。
(平成18年度は第50回記念のため、平成17年度の入場者数を使用)
- ・ 文化施設の利用者数を目標数値として、文化意識の高まりや交流人口の増加を図ります。